

ゼミナールかわら版

第5回「働く人の健考学ゼミ」意見交換会

令和6年11月11日開催分

発行:坂井健康福祉センター(R6.11.29)

意見交換会に先立ちまして、
一般市民に対するがん講演会を受講しました。

講演会＝「がん予防とがん検診の正しい受け方」＝

(公財)福井県健康管理協会 がん検診事業部長

松田 一夫氏

1)40～79歳死亡原因のトップが悪性新生物

2)目標は「誰一人取り残さないがん対策」

3)3大原因は「喫煙」「感染」「飲酒」

4)予防にはがん検診が有効！

5)がん検診には利益と不利益がある

6)がん検診は科学的根拠のある方法で＝市町検診

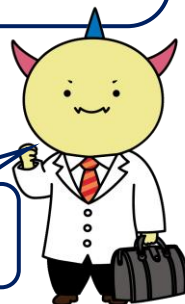
7)自覚症状があればがん検診ではなく病院へ

8)がん検診を受けて精検と言われたら必ず病院へ

詳しくは右の
QRコードを
読み込むと
YouTubeで
見ることができます。



必見です！



<利益>

がん死亡のリスク
が減る

「異常なし」なら
安心を得られる

検診・精検に伴う偶
発症・放射線被ばく

<不利益>

偽陰性による
がん発見の遅れ

擬陽性による
精神的苦痛

過剰診断

	対象年齢	検診間隔	現在の方法
肺がん	40歳以上	1年に1回	胸部X線検査
大腸がん	40歳以上	1年に1回	便潜血検査
子宮頸がん	20歳以上 30～60歳	2年に1回 5年に1回	擦過細胞診 HPV単独検査
乳がん	40歳以上	2年に1回	マンモグラフィ
胃がん	50歳以上	2年に1回	胃内視鏡検査 胃X線検査

講演会終了後、場所を変えて、働く人の健考学ゼミを開催しました。

＝情報提供＝

＊事務局よりがん検診に関するアンケート結果の概要（職域：10事業所・3保険者）
＜職域＞がん検診実施率：9割(大腸：全事業所、胃・乳：9割、肺・子宮頸：8割)大腸・胃・肺
検診は法定検診と込々。受診日の取り扱いは6割は職専免、3割が有給休暇だった。

＜保険者＞乳(40歳以上)子宮頸(20歳以上)以外のがん検診は対象年齢に違いがあった。

＊(株)金津村田製作所 室谷氏：肺・大腸がん検診は全員受診。当日忘れた等の場合、市
町のクーポン受診に誘導。精検も100%受診。(課題)体調等で漏れた人の把握ができない
こと。婦人ががん検診を社内で実施したいが、日程を健診と合わせられないのと、受診者を
20名以上集めることが難しく、婦人ががん検診の受診の機会をどのように提供するか。

＊(株)UACJ福井製造所 齊藤氏：胃・肺・大腸がん健診は、従業員への負担金はなく健診
が受けられる。要精密検査対象者には、産業医より病院への紹介状発行。要精密検査受診
率100%。がん早期発見・早期治療に繋げている。婦人ががん検診は、扶養者含めUACJ健
保組合の巡回健診にて、無料実施。(課題)健診後(扶養者)、有所見者における要精密検
査受診率の把握ができていないこと。UACJ健保組合との連携が必要。

＊(医)春江病院 吉田氏：対象：肺(20歳以上)、大腸・乳・胃(40歳以上)(課題)就業時間
に受けられるようにしていても任意のため受けない人は受けない。病気の怖さは知っている
が自分の病院のため行きづらい。実施する立場：申し込みされたものを断る勇気が持てな
い。事実、受けなくてもよい年齢の受診のために本来受けなくてはならない年齢の受診を断
るケースもある。

＝松田先生からのご助言＝

QRコードを読み込むと取得できます

＜職域におけるがん検診のマニュアル＞

平成30年3月に職域における基本的に大事なやり方を示しており、
自信をもって行ってほしいといえるものが書かれている。ぜひ読んで
関係者とがん検診について議論をしてもらいたい。



＜がん検診の不利益＞

どんな健診であろうと、何かしらの事故は起こりうると認識してほしい。大腸がんの内視
鏡で、大腸穿孔が起こっている。新人ベテラン問わずに起こる。そうすると、半年は人工肛
門になってしまう。事故でなくてもつらい検査となれば心的トラウマになる可能性もある。こ
れから妊娠する可能性のある人の被ばくは犯罪だと思う。だから、良かれと思って何でも
行うものではない。

＜がん検診の今後＞

今後のがん検診のターゲットは間違えなく職域。コロナの影響で市町のがん検診の受診
率は軒並み下がったが、職域はほとんど変わらなかった。ある程度の強制力が働いている
と考えられる。将来的には、法で縛る方向で考えるが、その基本が上記のマニュアルなの
で、ぜひ、読んでもらいたい。

＜出席者＞

・(株)金津村田製作所 室谷氏・(株)UACJ福井製造所 齊藤氏・日東シンコー(株) 築紫氏
・福井鋳螺(株) 加藤氏・藤田氏 ・(医)博俊会 春江病院 吉田氏 ・はいや松風園 藤澤氏
・ガーデンハイツ春江 沢辺氏 ・坂井市健康増進課 角正 氏

・・・編集後記・・・

「働く人の健考学ゼミ」意見交換会も2年目に突入し、あっという間に12月。そろそろ来年度の計画を考え
なくてはならない時期となりました。職域のがん検診には、まだまだ課題がありそうです。何ができるか、皆
様のご意見も伺いたいところ。ご連絡させていただく折には、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げま
す。年の瀬が近づき、気だけが焦る今日この頃、皆様、くれぐれもご自愛ください。